

# 緩和ケアだより

第5版  
平成26年9月30日  
八鹿病院緩和ケア病棟

暑い夏も過ぎ、足早に秋雨という言葉が耳にはいつてきました。同時に、台風もやってきて、自然の力を思い知らさせられます。人間がこの世の中を支配していると大きな勘違いをしている自分に、自然の中に人間が生かさせていただいていると気づき、感謝の気持ちを忘れないようにと反省します。

## 緩和ケアチームの活動

当院の緩和ケア病棟は専門的な緩和ケアを提供しています。また、それとは別に緩和ケアチームもあります。

緩和ケアチームは、緩和ケア病棟以外の病棟に入院されている患者さんが抱えられる痛みや息苦しさなどの症状や気持ちのつらさ、医療費などの経済的な悩みを解決し、治療が継続できる事を目的に医師、看護師、薬剤師、リハビリ、栄養士、ソーシャルワーカーなどがチームとなり、担当医師、病棟スタッフとともにさまざまな調整を行っています。今年6月より週1回、水曜日午後1時に病棟回診を開始しました。

### 活動内容

1. 身体症状の治療とケア  
疼痛、呼吸困難、悪心・嘔吐、全身倦怠感など  
→鎮痛剤、鎮痛補助薬、制吐剤、ステロイドなどの使用法と副作用対策の助言
2. 精神症状の治療とケア  
不安、不眠、気持ちのつらさ、せん妄など  
→抗不安薬、向精神薬などの助言
3. ご家族の悩みの相談とケア  
→高額療養費制度、介護保険などの利用に関する助言など  
お気軽にご相談ください。また、院内外の医療従事者へ緩和ケアに関する教育を行い、緩和ケアが院内のみでなく、地域へ普及してゆくように活動します。

## 看取りについて

看取りが近づいている時期を臨死期と言います。自分がどのように死んでいくのか？ どのように死にたいのか？ ととても大きな問題だと思います。その問題をどのように解決していくのか？ 患者さん一人一人が思い悩み苦しむ命のある限り生きておられます。この臨死期を痛みや苦しみの少ない、その人らしい生きかたをしていただければ、緩和ケア病棟では支援しケアをしたいと思っています。



## 七夕会を終えて

7月の中旬に七夕会を開催し、患者さんや家族の方に参加して頂きました。その日は、ボランティアで琉球楽器を演奏する「とんとんみー」というグループを緩和ケア病棟に招き、沖縄の歌に指笛と三線の演奏で楽しい時間を過ごしました。また、ヨーヨーつりやたこ焼、わたあめ、かき氷なども準備し夏祭りの雰囲気味わっていただきました。「たこ焼がおしかった。3つも食べた。」と久しぶりに懐かしい味に何かを感じていただきました。それぞれ患者さんの体調は日々変化しますが、一日一日を大切にその人らしく過ごしていただいています。



## 緩和ケア病棟からのお知らせ

### 第7回ひだまりの会(遺族会)

11月15日【土】午後1時から 八鹿病院第1講堂

平成25年度に亡くなられた患者さんの遺族の方にグリーフケアを目的に行います。

### 第1回緩和ケア研修会

12月7日【日】午後1時から 八鹿病院第1講堂

テーマ「緩和ケアについて」

医療関係者の方どなたでも参加してください。お待ちしております。講演会の後、ご希望の方に緩和ケア病棟見学会を予定しています。

緩和ケア病棟は、バラの庭園に鯉を飼ったり、ホールの水槽には金魚を飼っています。動く姿を見ることで元気をもらいます。これをアニマルセラピーともいい、緩和ケア病棟では様々なことを準備しています。一度見学していただき、ご意見を聞かせて頂けたらと思います。お待ちしております。



文責谷本